

新樹風

正直

茂り行青葉の梢

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

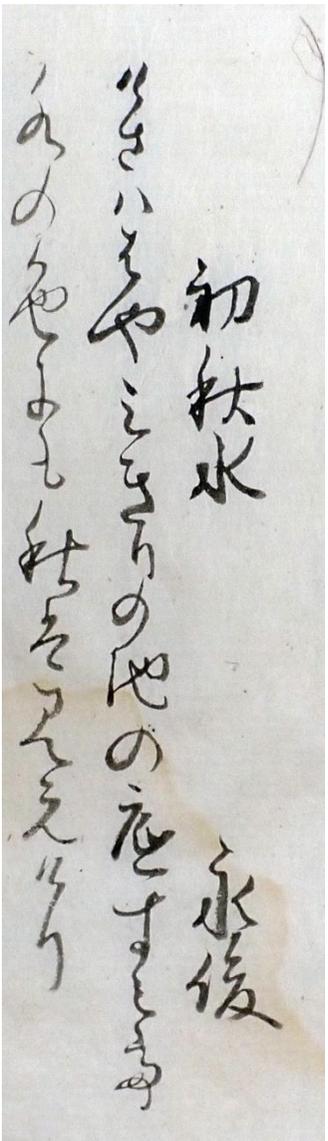
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

あとなき風越の

【歌題】 新緑の木に吹く風

【作者】 小野正直。庄屋小野家八代目。詳細は前記。

【意味】 茂っていく青葉の梢が音を出して揺れている。風が越えていく高い場所に桜は  
痕跡もとどめず、訪れる人もなくなった。★この意味に合うように空白部分の文字を当  
ててみましょう。



初秋水

永俊

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

すすはみやとさりの池の底

水の □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

見え

【歌題】 初秋の水

【作者】 井上永俊。宮崎屋井上家六代目。詳細は前記。

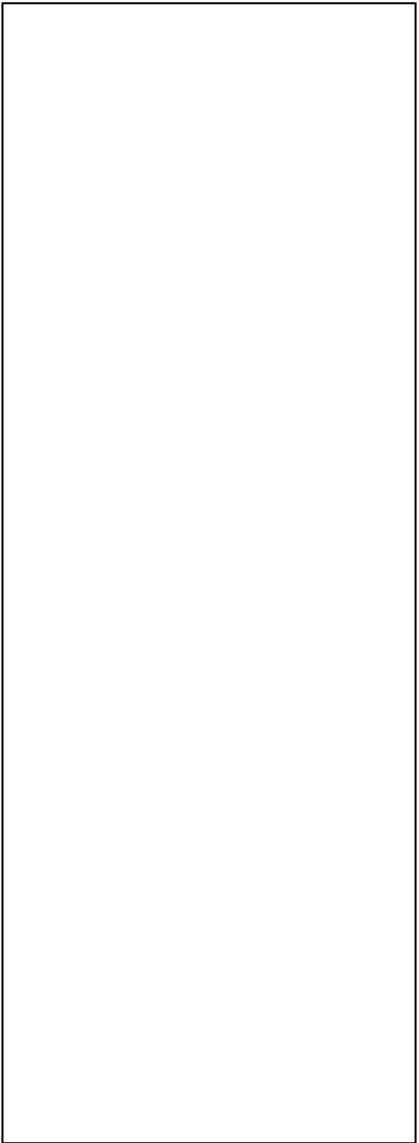
【意味】 今日の朝はもう池の底が透き通っているように見え、水の気配から次の季節の  
到来が察せられるようだ。★この意味に合うように空白部分の文字を当ててみましょう。

★三首とも、【意味】の文章から和歌に出てくる言葉を外し、ぼかしてあります。

演習問題②

ここまで見た実例や演習問題①の二首などに参考になる情報が入っているので、それらを参考に全文を活字化してみましよう。

里卯花 信雅  
月香のまねをふまて白くか  
うのえねあこよ二万の里人



待部公 永俊  
おまごういねつうまのなとま  
たしあひまのくまもり耶

